

## 東北フォーラム実行委員アンケート

### 1、オープニングセレモニー、開会式、製品アピール

準備もきちんと出来、大成功だと思われました。

山形県らしいオープニングセレモニーでした。

非常にスムーズな進行だったと思います。

来場者の映像があっても良かったのでは。花笠良かった。

アクシデントはあったが、オンライン特有の事であって、許容範囲ではなかったかと思う。

カメラが1台だったので、もう1台、壇上から客席を映す物があっても良かったかと思いました。

山形県らしさを出すポイントとして、舞台上の飾りの花笠は大変良かったと思う。

舞台上の飾りの花笠が、2日間落ちなくて良かった。

オープニングセレモニーの花笠踊り、華やかで良かったです。製品アピールについて、今回映像のみの紹介であったが、コロナ禍の今ならではの紹介であったと思いました。

リハが当日朝という急な事もあり、司会進行・タイムキーパー・撮影等、各部署との細かい打合せ・すり合わせが不十分だったかな？という気もしたが、皆さん慌てず落ち着いて対応して下さり助かりました。

花笠の演舞は、県内外の参加者へ山形県の魅力を伝えられた良いものであったと考える。製品アピールについて、配布資料等に掲載しておく、より分かりやすいかと思った。特に会場の参加者は実物と説明がリンクしにくいとも思えた。

リハーサルはしたが、紹介時間が分からなかったり、入るタイミングが早かったりしたので、もう少し事前打ち合わせが必要だと思った。会長の話の時におしたが、他で調整出来たので良かった。製品アピールも、問題なかった。

当初の予定と、カメラや椅子の位置の変更がありましたが、大丈夫でした。花笠リハーサルも、きちんと出来て良かったです。製品アピール時に、画面共有が出来なくなるアクシデントがありましたが、皆さん臨機応変に対応されて良かったです。

ハイブリッド型の開催となった。会場の参加者は少なかったが、全体で140名程集まり、とても良かった。また、オープニングセレモニー「花笠音頭（花笠舞踊団）」は、開催地の山形県らしさが出ていた。高橋光平委員長、井上会長の挨拶、オリジナリティを感じてとても良かった。

花笠を他県に見て貰えて、華やかでオープニングセレモニーになったのではないかと思います（ダイナミックな男踊りも見てもらいたかったです）。会場参加者が少なかったのが仕方ないのですが、会場での盛り上がりももう少し他県に伝わるとさらに良かったと感じました。

予定通り進んでいた。切り替えもうまくいっていた。製品アピール時にアクシデントはあったが、修正出来て良かった。製品アピールは画面共有だけだったが、印刷された資料があっても良かったのではないか。間に合わないのであれば、後日データで送信しても良かったのではないか。

音響と照明を担当させて頂きましたが、初めてという事もあり、愛泉会理事長の講話の際に、照明を明るくしすぎてしまい、会場の画面が見にくかったとの意見を頂きました。ハイブリッド型の開催という事もあり、準備に時間がかかってしまい（業者、テルサの会場担当の方々）、実際の会場を使ったリハーサルをする時間をとることができなかった為、会場の設備的な部分でのリハーサルをする時間を設けられるとより良かったのではないかと思います。

### 2、分科会

途中でリモート、コンピューターの調子が悪くなり、心配もされたが、無事配信が復活出来安心した。

来場者が少なかったため、受付開始時間、もう少し遅くても良かったと感じます。

(第1)現場は何も問題なかったが、時々、の人の声が入ったのが、気になった。

(第1)来場者は少なかったが、その分静かで講義に集中出来、勉強した感が強かった。

入り間違い等のトラブルはあったが、進行スケジュール等に大きなズレもなく、非常に良かったと感じる。

(第1)研修らしい研修だったと思う。

ハイブリッド型でも、不思議な一体感が生まれていて、こんなに楽しい研修になるんだと驚きを感じた。本当に良い研修だったと思う。

第1・第2の参加でしたが、オンラインとの併合の研修で大変だと思いました。第2分科会では運動を伴う研修でしたが、離れた参加者も一緒に参加して良かったと思います。

県内事業所の方々の様々な取り組みをお聞きでき、非常に刺激的でした。本分科会で学んだ事を、当学園に還元していきたいと思えます。

オンラインでの参加が多くいたが、設備に問題が発生した等が無くスムーズに終わられたと思う。当初の予定だと発言者の場所がスクリーンと被ってしまう配置であった為、他の机も含め、リーダー中心に臨機応変に対応出来たと感じている。

業者のセットアップに時間が掛かり、第3分科会のセットアップが最後で、加藤先生との打ち合わせも急遽変更となり、予定通りに行えず、その点に関して課題が残った。事業所名と名前の表記ではなく、大人数の場合は、番号と名前の表記にするのが一番良いと分かり、今後に活かしていきたい。

(第3)先生の自己紹介が長くなり、話し合いが短くなってしまい残念だった。グループ分けしたが、来ない人や間違える人がいて、グループ毎の人数がバラバラだった。業者との打合せ時間が、もっとあった方が、やり易く良かったのではないかなと思う。

講師側の感想として、オンライン配信は、相手の反応が分かりづらく、講義も内容が少し難しかったので、どれほど理解して貰えたか、内容把握したかが、顔が見えない分、講師側も分からず、集合型に比べ手応えは少し薄く感じた。

(第3)1回目のグループ分けでトラブルって、時間が押してしまった。グループワークをしているとあっという間に時間が過ぎたが、互いに意見交換が出来、とても良かった。講師の方の話が長く、もう少しグループワークの時間が欲しかった。最後に素晴らしいギターの演奏が聞けてよかった。

第1分科会「支援力向上研修の取り組みについて」は、山形県知的障害者福祉協会として報告出来て大変良かった。自閉症・行動障がい児者への支援は、障害者支援施設の存在意義にも繋がるものであり、研修の活性化に期待したい。第2分科会は、「山形心体表現の会」の講義と実技だったが、オンラインでも参加者との繋がりを感じる事が出来た。

ネットワークの問題もなく、スムーズで良かった。全体的に、東北の各実行委員のマイクが聞き取りづらい部分もあり、事前に同じマイクにするとか、準備・調整が必要だったと思う。講師の先生方の話も凄く面白く、会場の雰囲気も良かったと思う。講師の先生方からも、スムーズな進行を有難うございます。とお礼の言葉を頂きました。

(第3)担当の実行委員が、盛り上げ役として頑張っておられ、受講した方々も「とても楽しい講習会だった」と言っていた。吉田所長はじめ、ファシリテーターをして頂いた方々には、事前打ち合わせから参加して頂き、詳しい説明もリハも無いまま難しいファシリテーター役をして頂き、申し訳なく思います。でも上手く回して頂き、参加した皆さんがイキイキとしていたなあと思いました。有難うございました。

講師の講話は勿論ですが、後半のワークショップが、会場的人数が少なかった事もあり、広々と使う事が出来、より良い形で実施する事が出来たのではないかなと感じます。音響は、講師の方にその都度合図を出して貰いながらの実施となりましたが、それなりの形で実施する事は出来たのではないかなと感じています。またこれに関しても、二回目の方が圧倒的にスムーズに行う事が出来たと感じます。

当日までは、リモートでダンスのワークショップは難しい面もあるのではないかなと感じていましたが、参加された方々が積極的に画面越しで一緒に体を動かしている様子が見れたので、また別の感動がありました。現場で活かせる内容の伝え方であったので、実際に利用者と一緒に取り組んでもらえる事業所も多くあるのではないかなと感じました。ただ、大きい会場で参加者全員でダンスしてみたかったと悔しい気持ちもありました。時間的にもちょうど良く、進行もスムーズでした。

(第3)実行委員の皆さん、準備有難うございました。ハイブリッド型を実現させた事は、今後の研修に活かせる大きな収穫。事前のグループ分けは、今後の課題になる。業者を交えて、講師の先生との打ち合わせが出来なかった。名前表記の周知徹底が必要。2回転するやり方の場合、講師の方の話は要点だけにとどめ短くし、グループワークの時間を、もう少し多めにした方が良かった。他のグループの様子が分かりづらく、残念だった。

(第2)カメラで撮る側だったが、見ていて楽しそうに参加したかった。書面上で動きを確認していたが、実際の動きは想像以上に大きく、また、カメラのモニターとPCの画面上での角度等のズレがあり、距離感も分からなかった。配信先でのサイズが分からず、困りました。カメラをどれ位ゆっくり動かせば良いのか、オンラインならではの悩みがありました。1回目の反省をいかして、2回目はカメラのコードを幅広く取ったりしたので、見易かったと言うご意見を頂き良かった。事前のリハーサルは欲しかった。

(第2)1回目と2回目の分科会で、全体から個人のズームにと、カメラワークを変えて頂き、好評だった。リハーサル(テスト)があれば、1回目から良いものが作れたのかな?と思う。オンラインの方との繋がりが不安だったが、カメラの向こうで手を振ってくれたり、オンラインではあるが、会場以外の方との繋がりも感じられた。渡邊講師の話しの展開が上手というもあるが、カメラも含めて、オンラインの見せ方等、今後の研修に非常に参考になると思った。ギャラリービューで見ていて、立ち上がって顔が映ってなくても、楽しそうに踊っているのが分かった。2回続けての参加は、へとへとになりました。

事前打合せや、配布された資料と会場の配信機器のセッティング状況が異なり、当日バタバタと準備する事になってしまった。実行委員の最後の打合せに、勤務で参加出来なかった事もあると思うが、こちらで準備するパソコンやデータの所在が直前まで分からず、準備の開始がワントン遅れた。予想していた時間より、オンラインの受付に時間が掛かった。オンラインでの表示名について、事前にもっと周知が必要であったと思う。オンラインで配信する際の映り方について、もっと実際にオンラインで確認する等のリハーサルが必要だと感じた。会場スタッフと、オンライン参加の実行委員との個別の連絡手段が無く、現場での時間のズレやトラブルに際して、調整する事が出来なかった。

### 3、講演

|  |
|--|
| 発想の豊かさに感動し、障害者への関わりに関心しました。今後の活躍に期待します。  |
| まだまだ東北の施設の強み、復興途中の、これからの意欲がとても素晴らしく感動した。   |
| 質問時間も、しっかりあれば良いのでは。  |
| 興味深く、岩手の県発表とリンクしていて、分かりやすかった。  |
| 初めて聞く内容で興味深く、中々面白かった。  |
| 回線トラブルで、開始時間が遅れたが、その後は何も問題なく良かった。動画は10分と決まっていたが、ほとんど延びていた。   |
| 現地会場では、参加者用のテーブルがあっても良かった（メモ等取る用）。また、少し肌寒かったようにも感じる。内容としては、とても良かったと思います。   |
| ヘラルボニーさんの事を知っている人達が、松田さんの講演を聞きたいと楽しみにしていたので、目玉になったと思う。うちの職員も喜んでた。  |
| 少しぶっつけ本番的な所があった。2日目も、開始早々フリーズしたので、前日のリハーサルは必要だったと思う。当日と同じように、動画を流してチェックしてみるべきだった。  |
| 障がいのある方が社会で活躍している姿を伝えるとともに、ひいては支援者による仕事へのやりがいや重要性を訴えることが出来た内容であったと考える。   |
| 世間的にも関心の高まっている会社であるヘラルボニーさんのお話をたっぷり聞くことができ、個人的にも非常に満足感がありました。  |
| 障害者アートを社会全体に知ってもらう方法や障害者の社会参加という意味では、こうした方法やノウハウがあるのかという気づきが得られた。全体的にビジネス色が強く、既存の事業所にそのまま参考にするのは難しいと感じた。   |
| 「ヘラルボニー」という兄の言葉をベースに、全国の知的障害者とアートライセンス契約を結び、様々な分野、海外にも活動領域を広げていく実践は類を見ないものである。そして「障害者」という言葉そのものがなくなる社会を目指す活動は、あらゆる分野において無限大の可能性を秘めており、その発想と実践力は大きな刺激となった。  |
| これまで福祉施設の職員として持っていた考え方とは違った、より一般企業的な考え方を学ぶ事が出来た良い研修になったと思います。また、私達が同様の事をしようというよりも、一般企業とのコラボレーションをどう展開していくかが今後の課題となってくとも感じました。私と同様に、今回の研修でヘラルボニーさんを知った方が、今後の福祉芸術、就労の分野で積極的な活動を展開してってくれるのではないかと期待しています。                                |
| 率直に、描いたご本人（そしてご家族）が、自分の絵やデザインしたものが作品になって喜んでくれる事が一番だと思いました。一枚の原画から、様々なアーティスト（例えばデザイナー）とコラボして一つの商品になっている事は、社会の中で他者と協力しながら製品を生み出すという過程をきちんと踏んでいて素晴らしいと感じました。今回は少しの時間だけでしたが、るんびに美術館館長のお話のように、アート制作に取り組む利用者との関りや、働きかけのような部分の話も聞きたいと思いました。 |

|  |
|--|
| <b>4、県発表</b>   |
| 動画の形式（テロップを入れる等）について、もう少し運営から指定する部分があっても良いと思った。                                      |
| それぞれ特色がある発表で、本大会の趣旨に沿うような内容であったと考える。   |
| 山形県の魅力を存分に出して頂き、映像中心で見やすかったです。編集お疲れ様でした。   |
| 各県の思いや熱意がこもった素晴らしい発表だったと思います。  |
| 情報交換としては良かったです。各県事業所の現状を、知りたかったです。   |
| コロナ関係に偏っていたので、もう少し幅を持たせて欲しかった。   |
| 文章が長く読み切れなかったので、スライドをもう少しゆっくりしたり、もう少し分かりやすい説明があっても良かったのではないかと。                       |
| 現場の若い人の、どういった思いで作ったとか、他の人からの質疑とかがあっても良いのではないかと。職員間との交流を大切にすることを目的とし、今後展開していけると良いと思う。 |
| 皆さん色々アイデアを出してくれたり、頑張ってくれて助かりました。10分でのまとめは難しい。最初は素材も中々集まらず大変だった。本当にホッとしている。           |
| 6県共通して、それぞれの県内施設の利用者の声を聞いて、とても感慨深いものがあった。皆、今のコロナ禍の中、思いは同じである。                        |
| どの県も素晴らしい発表であったが、特に山形県は見応えあり、実際に行ってみたくなるような内容でした。動画作成に携わられた方々、本当にお疲れ様でした！            |
| 【名鉄さんより各県で作った動画について】 調整はしたが、各県で音量の差が出てしまったので、作る際の最初に、具体的なお願いをしておけば良かった。              |



皆さん業務が忙しく時間が無い中、4人の方には、集まって動画を作って頂き、本当に感謝しています。後日URLを全事業所に送るので、参加出来なかった皆さんにも是非見て頂いて欲しいです。

ゆっくり分かり易くという点については、司会進行の高杉さんから出た話で、もう少し時間を延ばして、細かく説明しても良かったのかな？という意見が出た。山形県はバッチリだった。山形に行きたくなるような動画でした。

それぞれの県の特徴が表れていて、とても楽しく見させてもらいました。映像での発表であったので、各県のたくさんの生の「人」（支援者）があまり見えないのが残念に感じて、リモートではなく直接会場にて発表を見たいと思いました。

各県毎の特徴が現れていて、一つ一つの発表が違っていたので、正直、見ていて飽きなかったです。山形の発表に関しては、手前みそになりますが、6県の中で最も良い出来であったと感じています。反省点としては、福島県の発表の様に、遊び心を入れても、より良い物になるかもしれないと感じました。

東北6県それぞれの利用者や職員から、実践報告、DVDやスライドによる「想い」の発表（発信）があった。手作り感満載であり、東北フォーラム開催の意義や真骨頂を感じる事が出来た。当日会場に集まる事が出来ない利用者や職員の活動や想いを伝える場は、今後も是非続けて設定して頂きたい。

## 5、閉会式

来年開催の県へ、研修の意義や主旨を引き継げるようなものになったと思う。

堅苦しくなくて良かったです。

最後山形会場の時に、立ち上がって手を振って盛り上がりれば良かったと反省していました。

次回開催の福島の思いを伺い、東北フォーラムの意義を強く感じました。

非常にスムーズな進行だったと思います。

今回の山形県で、フォーラムが東北を一回りしたが、来年の福島県での開催に繋げる事が出来、大変良かったと思う。

オンライン中心の形になっていた為、会場でも画面中心の形式になっていましたが、開会式のように、会場はもう少し会場中心の形式（壇上での挨拶等）でも良かったのではないかと感じました。

スムーズに進行出来て良かったと思う。最後、配信の参加者を一気に映す演出は良かった。ただ、それでも会場内の寂しさもあった。

## 6、運営について

オンラインのみだと、物足りなさを感じるが、ハイブリッド型を用いた今回の試みは、とても良かった。

初のハイブリッド型研修との事で、何もかも手探りの中でしたが、とても良い研修会だったと思います。

オンライン中心になってしまった気がする。来場にもう少し気を配った方が良かったのでは？

実行委員の準備が大変だったと思います。初めての試みでしたが、トラブルも無く、無事に終了出来た事、本当にご苦労様でした。

ハイブリッド研修で、技術的・費用的には難しい事が多かったのだろうと思いました。県内の集合参加が、もっと多いと良かったと思います。

ハイブリッド型は、今後も求められる事が多くなると思うので、次に繋がる良い研修だったと思う。実行委員の打合せ、もっと余裕（回数）が欲しかった。

今後に繋がる研修だったと思う。山形県開催なのだから、もっと手伝ってくれる（協力してくれる）事業所があっても良かったのではないかな？

集合型に参加される方と、オンライン型に参加される方の、学びの質ができるだけ変わらないよう、工夫が凝らされていたように思いました。

開催する工夫のチャレンジとして、有意義なフォーラムだった。ハイブリッド型は、今後の研修の参考にもなり、非常に貴重な体験をさせて頂き有難かったです。

初参加でスタッフとして準備に入り、色々な大変さが身に染みて分かった。Webトラブルは、付きものでしょうがないと思って、今後も対応しなければと感じた。分科会へ参加して、考えさせられる事もあり、大変良かったです。

初めての試みであったが、実行委員を中心に設定して下さり、大きな問題なく無事終える事が出来たと感じている。所々でオンライン参加者によるミュートの設定漏れがあったので、本部よりチャット若しくはマイクで指示があると良いと思った。

全体の打合せも中々難しく、分科会毎の打合せもバラ付きがあり、時間も無い中取り組んで頂き、本当に感謝しています。協力事業所に関しては、もう少し早くから事前説明して、協力を仰いでおけば良かったと思った。参加費は、下げない方が良かったのでは？と後から思った。

|  |
|--|
| <p>オンラインは手軽だと感じるが、目に見えない所で沢山の人が動く、とても大変な事。今回の大変さ等、色々次々の福島へ伝えたい。全体としてはスムーズだったが、来場者が少なく残念だった。研修の醍醐味は、膝を突き合わせて、直接意見交換する集合型だと思うが、これからは色々なタイプがあると思う。</p>  |
| <p>初めての試みという事で、途中途中で業者も戸惑うようなハプニングが多かったが、このような試みが広がる事で、例えば、全国規模の開催の際にも遠方から参加が可能になってくるので、今後もこのようなチャレンジを続ける事は、これからの時代を見据えた上では重要な事なのではないかと感じました。</p>  |
| <p>細々した所で、多大な費用や労力があつた。初参加で、準備等に対して後悔する事が多々あつたが、福祉関係に携わる人の多さや、福祉の世界というものに触れて、驚きや喜び等、色々な感情を感じる事が出来、大変勉強させて貰いました。ありがとうございました。</p>  |
| <p>ハイブリッド型形式であっても、オンラインで十分参加者と繋がる事を証明出来たと思う。時間の無い中での準備だったが、大きな混乱もなく運営出来た事は大変良かった。また、ネームプレート用の、個人毎のスケジュールを記したメモカードの配布は、中々表には出ない所でのスタッフの努力を示すものであり、フォーラムに対する気概を感じた。</p>  |
| <p>アナログ人間なので、ハイブリッド型が一番大変だと思った。集合型が一番簡単と思う中、一番難しいハイブリッド型を皆さんにして頂き、それぞれの持ち場でご協力頂いて、感謝しています。参加費については、下げなくても大赤字なので、もう諦めています。大変だったのと、お金が掛かると言うのが実感です。協会の皆様、ごめんなさい。という気持ちです。</p>  |
| <p>高橋委員長と2人、1回目からの実行委員としてフォーラムに携わり、経験の無い、一番難しいハイブリッド型で、今更ながら、例年と同じでは駄目だったのだと感じました。もっと早い段階で動く事、大きなお金が掛かる費用の件等、良く分かりました。この研修で学び得たものは大きく、今後協会の為に、恩返し出来ればと思っています。</p>  |
| <p>不慣れな中、準備を含め現地とオンラインで進めてきて、不備もあつたと思うが、経験と場数を踏めば楽になる部分も出てくると思う。ただ、トラブルがあつた際の対応も考えておかないと、リカバリーが難しい。配信の為のコストや準備の負担によるが、ハイブリッドでの研修自体は新型コロナ等の状況に関わらず、今後のフォーラムでも実施しても良いと思った。その方が、より参加者が増えるのではないかと。</p>                         |
| <p>ライブ配信の準備はとても大変だったかと思えます。山形は来場参加も可能でしたが、移動時間や駐車のことを考えて、リモートでの参加者が多かつたと思えます。リモートの方が参加しやすいというメリットもありますが、会場参加が増えるような何らかの働きかけも必要であつたのかと感じました。全体的な参加者数も減っているとの話もあり、研修内容が素晴らしいと思ひましたので、参加者が増えるような事前の取り組みも工夫されると良いのかと思ひました。</p> |

|  |
|--|
| <p><b>7、その他</b></p>  |
| <p>準備役員の方、お疲れ様でした。</p>   |
| <p>こすもすの家ー花販売、大けやきの家ー菓子販売させて頂きまして、ご協力有難うございました。</p>  |
| <p>研修の準備等、本当にありがとうございました。とても充実した研修内容であり、今後も続けていただきたいと思ひます。</p>   |
| <p>実行委員長の高橋さん、部会長の深瀬さんを筆頭に、皆様の協力もあつて、大成功かと思われまふ。皆様、本当にお疲れ様でした！</p>   |
| <p>遠方の事業所からの参加は大変だと思ひますが、山形県からはオンラインではなく、来場の研修だと、人数も確保出来、良いと思ひます。</p>  |
| <p>本日のスタッフ振り返りで、私自身気付かなかつたご意見・ご指摘があり、凄く良かったと思ひます。皆さんから、本当に良かったとか、労いの言葉を頂戴し本当に嬉しく思ひます。本当に有難うございました。</p>   |
| <p>当日の忙しさは勿論の事ですが、事前準備で各方面との連絡調整、打ち合わせ、資料の準備等々動いて下さつた、実行委員、事務局の方々、本当にお疲れ様でした。</p>  |
| <p>本日も1時間半、そして日々の業務の中でも皆さんには、時間を調整して今回のフォーラムに協力して頂き、誠にありがとうございました。所属長の皆様にも、宜しくお伝え下さい。そして引き続き、協会の方も、宜しくお願ひしたいと思ひます。</p>   |
| <p>新型コロナ感染拡大下にあつて、2年続けての休止ではなく、フォーラムを開催出来た事だけでも、十分に意義があつたと思ひます。勿論反省点はあつたと思ひますが、バトンを繋ぐ事が出来た事、そしてスタッフ全員で協力しながら運営にあたる事が出来ただけでも、私はそれで十分に良いフォーラム開催だつたとおもつています。(協会事務局の皆さんにも感謝です。)</p>  |
| <p>運営側ではなく受講者側の視点での振り返りとなつてしまい申し訳ございません。私自身まだ障害者支援の現場での経験が1年半しかありませんが、今回のフォーラムで様々なお話をお聞きし、多くの事業所の方の熱意に触れた事で、改めてこの仕事の魅力ややりがいを実感しただけでなく、今まで気付かなかつた奥深さや困難さにも気付く事が出来、仕事に対する考え方の転換点となつたような気がしまふ。このような貴重な機会を作つて頂き誠にありがとうございました。今後とも宜しくお願ひ致します。</p> |